

家庭学習の手引き

三田市立長坂中学校

「どうしたら子どもがもっとやる気になりますか？」これは多くの保護者が子育てにおいて抱く悩みの1つです。しかし、やる気のもとになる、「気力」や「体力」の基盤づくりができる最良の場が「家庭」といえます。

さて、学力を伸ばすためには子ども達に身につけさせたい「6つの習慣」があります。

1. 早寝早起きの生活リズムをつけましょう
2. 朝食をしっかりと毎日とりましょう
3. 学校に持って行く物を毎日、確かめましょう
4. 家庭学習を毎日やりましょう
5. 読書する時間をつくりましょう
6. 学校での学習のことや社会の出来事について、家族との対話を大切にしましょう

— 家庭で気をつけてほしいこと —

1. **学習に集中しやすい環境を整えましょう**
 - ・ テレビや音楽は一旦消し、スマホやゲームから離れましょう。
2. **学習机の上を整理しましょう**
 - ・ 学習に必要な道具（ノート、消しゴム、鉛筆、定規、コンパス等）はそろっていますか
3. **学習の時間を確保しましょう**
 - ・ 学校から帰宅して、どの時間帯や場所で家庭学習するのか、話し合ってください
 - ・ 決まった時間に学習を始めることができるように、支援（声かけ）しましょう
4. **家庭学習を進めている様子を見守りましょう**
 - ・ やる気が出る声かけを行いましょう
 - ・ 叱るより、ほめることが大切です

－家庭学習時間の「めやす」－

1年生	70分	2年生	90分	3年生	120分
-----	-----	-----	-----	-----	------

※学習塾や習い事での時間は含めません。「家庭で学習する時間」です。

家庭学習を始める前に

[全教科共通]

1. 教科ごとに授業で配られるプリントを入れるファイルを用意する。
2. 学年ごとに定期テストをつづるファイル(テストファイル)を用意する。
3. 1のファイルを毎日整理する。その日の授業の復習の前にプリントをノートに貼るなど、ノートやワークも整理する。
4. 教科書やノート、ワーク、ファイル類は3年間保存する。3年生で役に立ちます。

まずは宿題に取り組む

1. 提出物は必ず期日を守って提出するよう心掛けましょう
2. ノートやプリントで授業の内容を振り返り、取り組む。

その日のうちに「復習」をする

1. 今日の授業の内容を振り返る。(教科書やプリント、ノートで学習した内容を確認する)
2. 「わからないまま」にしない。自分で解決できなければ、チェックして翌日、先生に質問すること。

次の日の授業の「予習」をする

1. 次の授業で学習する内容を、教科書を読んで確認しておく。
2. わからないことの「意味調べ」や「練習問題」をしておく。(何がわからないかをはっきりさせて授業に臨むと理解が深まります)

こんな学習方法で

国語

- 1 教科書に限らず、新聞記事でも物語文でも、文章を音読する
- 2 読めない語句、分からない語句を意識して文章を読む
- 3 意味や読み方がわからない語句は辞書等できちんと調べ、そのまま放っておかない
- 4 漢字は送り仮名を含め熟語・慣用的な語句を何度も書いて覚える(音・訓)複数の読み方をいっしょに覚えるように意識すると語彙が広がる

社会

- 1 教科書は2回読む。1回目は声に出して単に読むだけ。2回目は重要な語句などをマーカーでチェックして読む。
- 2 ノートや授業のプリントを見直し、教科書を読んで自分なりに工夫して追加(書き込み)していく。
- 3 場所がわからない「地名」は地図帳で調べる。
- 4 語句や地名、人名は必ず書きながら覚える。
- 5 ワークを使って学習した内容を復習する。
- 6 授業で学習した覚えのある新聞記事を収集し、見出しの内容を自分で整理して要約する。

数学

- 1 教科書を使って、用語の確認をする。
- 2 授業で学習した同じ問題をもう一度解いてみる。
- 3 教科書の例題や練習問題を解いて、できないところやわからないところを確認する。そのままにせず、友達や先生に必ず質問する。
- 4 教科書の例題は解き方を読んで確認する(書き写す)。自分なりにノートへまとめてみる。
- 5 うっかりミスした問題、間違えた問題は繰り返しできるまで練習する。
- 6 問題を速く正確に解けるように、繰り返し練習する。

理科

- 1 授業で習った内容を日々復習し、重要語句を覚える。
- 2 問題集を解き、間違えた問題は解説を読んだり、先生や友達に聞いたりして、できるようにする。
- 3 問題集は1度ではなく、繰り返しやる。

英語

- 1 教科書を音読する
- 2 自主学习用のノートをつくり、単語や文を声に出して書き、何度も練習する
- 3 寝る前に、今習っている単語を5つ覚える。
- 4 文法事項を覚え、問題集で繰り返し練習する。
- 5 1回解いた問題はあと2回、全部で3回解いてやり直す。

実技教科 共通

日々の自分の生活を見つめ、学ぶ姿勢を持ちましょう。日々の生活の中に、たくさんの学ぶべきことがみつかるはずです。自立するため、感性を磨くために自分のことは自分でやっていく力を高めることが大切です。

— 家庭こそが「道徳」の出発点 —

命を大切にできる心、人間としてやっていいこと悪いこと、真心のこもった思いやりと礼儀、感謝の気持ちや我慢、物や自然を大切にできる心や基本的な生活習慣などは、家庭の中で、毎日の生活の様々な体験を通してこそ生きて身につくものと考えます。

また、大人や親が、近所やまわりの人とのあいさつやさりげない声かけを日常的に示すなど、子ども達が大人になったときに、他の人とのかわりが円滑にもてるような場や機会を作り出したいものです。

家庭には家庭でしか味わえない安堵感や温もりがあります。子どもにとって家庭が最良の心の居場所であるためには、「自分も家族の一員」と実感できるように、子どもとの日々の何気ない会話の時間を設けたり、子ども達に役割と責任をもたせる活動の場を設定したりすることなども大切だと考えます。